

作物統計調査
令和7年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量

令和7年産主食用米収穫量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）は前年に比べ2万6,400トンの増加

【調査結果の概要】

東海3県（岐阜県、愛知県及び三重県）における令和7年産の水稻の9月25日現在の生産者が使用しているふるい目幅1.80mm及び1.85mmベースの予想収穫量（主食用）※1は35万4,000tで、前年産に比べ2万6,400t増加と見込まれる。

※1 生産者が使用しているふるい目幅1.80mm及び1.85mmベースのふるい上米

これは、作付面積（主食用）が7万2,300haで、前年産に比べ3,200ha増加と見込まれることに加え、9月25日現在における東海3県の10a当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）は490kgで、前年産に比べ15kg増加と見込まれるためである。

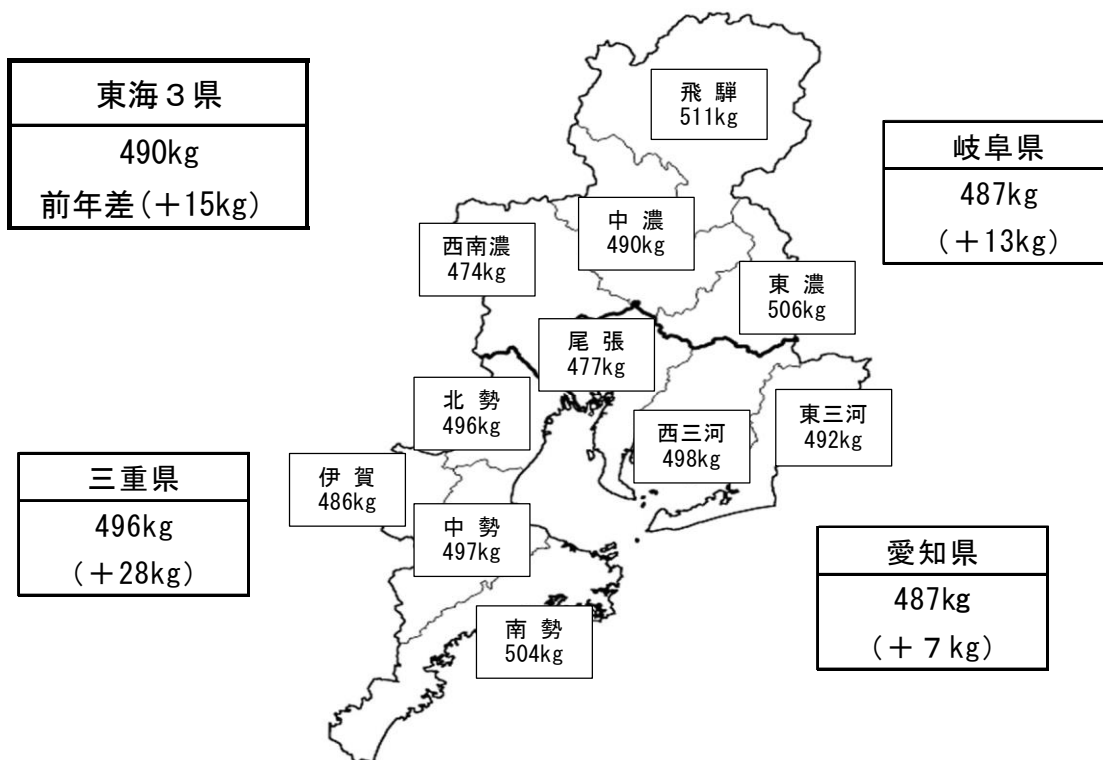
東海3県の作況単収指数は103と見込まれる。

参考

令和7年産の水稻の9月25日現在のふるい目幅1.70mmベースの予想収穫量（主食用）※2は36万4,200tで、前年産に比べ2万6,400t増加と見込まれる。

※2 生産者が使用しているふるい目幅1.80mm及び1.85mmベースのふるい下米を含む。

**図1 県・作柄表示地帯別10a当たり予想収量（9月25日現在）
 （生産者が使用しているふるい目幅ベース）**



- 作付面積（主食用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積（9月15日時点）を除いた面積である（11ページの【参考1】参照）。
- 10a 当たり収量及び収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である（令和7年産は予想）。
- 10a 当たり収量及び収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は、ふるい目幅1.70mmで選別された玄米の重量である（令和7年産は予想）。
- 10a 当たり予想収量及び予想収穫量は、収穫を終えた地域では刈取り実測による結果であるが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定した結果である。したがって、今後の気象条件等により変動することがある。

◎ 累年データ

水稻の年次別推移

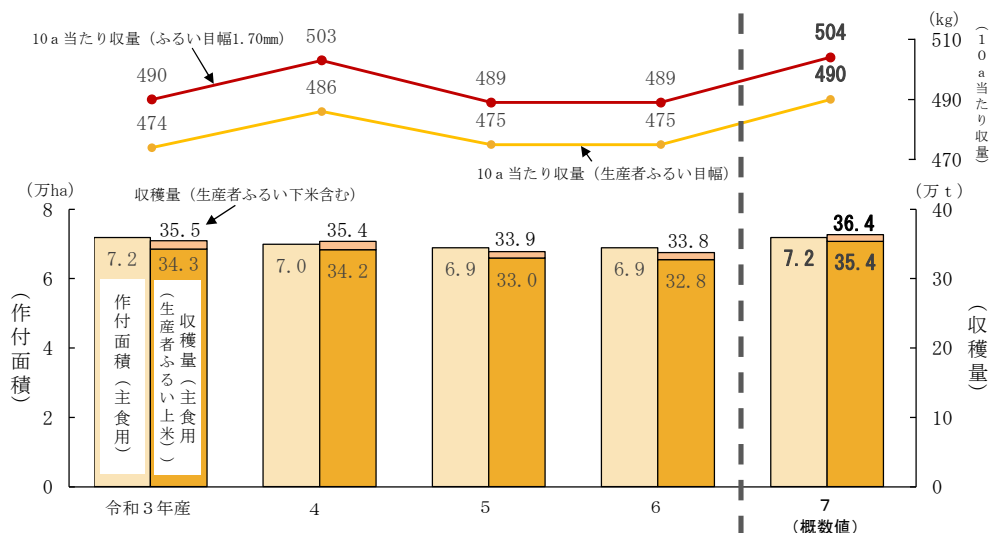
1 東海3県（岐阜県、愛知県及び三重県の計）

年 産	作付面積 (青刈り面積を含む。)		生産者が使用しているふるい目幅で選別				ふるい目幅1.70mmで選別			作況 単収 指数
	主食用	10a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者 ふるい上米))	10a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者 ふるい下米含む))			
	ha	ha	kg	%	t	kg	%	t		
平成28年産	84,600	75,600	501	104	379,000	511	104	386,500	103	
29	84,100	74,900	484	97	361,700	494	97	369,700	98	
30	83,800	75,300	482	100	363,100	493	100	371,200	99	
令和元	83,300	75,000	476	99	356,600	486	99	364,100	99	
2	82,800	74,500	462	97	344,300	480	99	357,900	96	
3	82,100	72,400	474	103	343,100	490	102	355,100	99	
4	81,500	70,300	486	103	341,600	503	103	353,500	102	
5	80,400	69,300	475	98	329,700	489	97	338,600	100	
6	79,000	69,100	475	100	327,600	489	100	337,800	100	
7 (概数值)	78,700	72,300	490	103	354,000	504	103	364,200	103	

資料：農林水産省統計部『作物統計』（以下、4まで同じ。）

- 前年産まで収穫量（主食用）として公表していたふるい目幅1.70mmの収穫量（主食用）は、令和7年産以降、収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））と表記することとした。
- 生産者が使用しているふるい目幅は、平成28年産から令和元年産までは東海3県では共通で1.80mm、令和2年産以降は県ごとに、最も多い使用割合の目幅（岐阜県は1.80mm、愛知県及び三重県は1.85mm）としている。
- 作況単収指数は、10a 当たり収量の前年産までの5か年中3年平均（最高、最低除く）に対する10a 当たり収量の比率である。また、平成28年産から令和元年産までの作況単収指数は1.70mmのふるい目幅で選別された玄米を基に算出し、令和2年産以降の作況単収指数は生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した数値である。

水稻の作付面積（主食用）、10a 当たり収量及び収穫量の推移（東海3県）



2 岐阜県

年 産	作付面積 (青刈り面積を含む。)		生産者が使用しているふるい目幅で選別 (1.80mm)			ふるい目幅1.70mmで選別			作況 単収 指数
	主食用	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者 ふるい上米))	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者 ふるい下米含む))		
	ha	ha	kg	%	t	kg	%	t	
平成28年産	25,300	21,700	476	101	103,300	486	101	105,500	100
29	25,200	21,500	479	101	103,000	488	100	104,900	100
30	25,100	21,500	465	97	100,000	478	98	102,800	99
令和元	25,100	21,400	473	102	101,200	482	101	103,100	100
2	25,000	21,400	459	97	98,200	470	98	100,600	97
3	24,800	20,700	466	102	96,500	478	102	98,900	99
4	24,600	20,000	477	102	95,400	487	102	97,400	102
5	24,500	19,700	476	100	93,800	484	99	95,300	102
6	24,200	19,600	474	100	92,900	483	100	94,700	100
7 (概数値)	23,900	20,800	487	103	101,300	497	103	103,400	103

3 愛知県

年 産	作付面積 (青刈り面積を含む。)		生産者が使用しているふるい目幅で選別 (1.85mm)			ふるい目幅1.70mmで選別			作況 単収 指数
	主食用	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者 ふるい上米))	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者 ふるい下米含む))		
	ha	ha	kg	%	t	kg	%	t	
平成28年産	29,700	26,900	512	103	137,700	521	104	140,100	103
29	29,400	26,600	503	98	133,800	512	98	136,200	100
30	29,200	26,700	489	97	130,600	499	97	133,200	97
令和元	29,000	26,600	490	100	130,300	499	100	132,700	99
2	28,900	26,400	469	96	123,800	490	98	129,400	96
3	28,700	25,800	480	102	123,800	496	101	128,000	99
4	28,500	25,200	488	102	123,000	505	102	127,300	102
5	28,000	24,700	468	96	115,600	480	95	118,600	98
6	27,600	25,000	480	103	120,000	497	104	124,300	101
7 (概数値)	27,700	25,700	487	101	125,200	504	101	129,500	102

4 三重県

年 産	作付面積 (青刈り面積を含む。)		生産者が使用しているふるい目幅で選別 (1.85mm)			ふるい目幅1.70mmで選別			作況 単収 指数
	主食用	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者 ふるい上米))	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者 ふるい下米含む))		
	ha	ha	kg	%	t	kg	%	t	
平成28年産	29,600	27,000	511	107	138,000	522	107	140,900	105
29	29,500	26,800	466	91	124,900	480	92	128,600	95
30	29,400	27,100	489	105	132,500	499	104	135,200	100
令和元	29,200	26,900	465	95	125,100	477	96	128,300	97
2	28,900	26,700	458	98	122,300	479	100	127,900	98
3	28,600	25,900	474	103	122,800	495	103	128,200	102
4	28,300	25,200	489	103	123,200	511	103	128,800	106
5	28,000	24,900	483	99	120,300	501	98	124,700	103
6	27,100	24,500	468	97	114,700	485	97	118,800	99
7 (概数値)	27,100	25,700	496	106	127,500	511	105	131,300	104

【調査結果】

1 東海3県

(1) 作付面積（主食用）

令和7年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた主食用作付面積は7万2,300haで、前年産に比べ3,200ha増加が見込まれる。

これは、新規需要米等からの転換があったためである。

(2) 作柄概況（生産者が使用しているふるい目幅ベース）

9月25日現在における東海3県の10a当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）は、490kg（前年産に比べ+15kg）と見込まれる。

岐阜県は487kg（前年産に比べ+13kg）、愛知県は487kg（同+7kg）、三重県は496kg（同+28kg）と見込まれる。

(3) 予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））

主食用作付面積に10a当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）を乗じた予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は35万4,000t（前年産に比べ2万6,400t増加）と見込まれる。

(4) 作況単収指数

東海3県の作況単収指数は103と見込まれる。

参考

ふるい目幅1.70mmベースの予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は36万4,200t（前年産に比べ2万6,400t増加）と見込まれる。

- 作況単収指数は、生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した10a当たり収量の前年産までの5か年中3年平均（最高、最低除く）に対する10a当たり収量の比率である。

表 令和7年産水稻の作付面積（主食用）及び9月25日現在の予想収穫量

区 分	作付面積（主食用）			生産者が使用しているふるい目幅で選別				
	実 数 ①	前年産との比較		10 a 当たり 予想収量		予想収穫量 （主食用（生産者ふるい上米））		
		対 差	対 比	実 数 ②	前年産との 比較	実 数 ③=①×②	前年産との比較	
							対 差	対 比
ha	ha	%	kg	%	t	t	%	
東 海 3 県	72,300	3,200	105	490	103	354,000	26,400	108
岐 阜 県	20,800	1,200	106	487	103	101,300	8,400	109
愛 知 県	25,700	700	103	487	101	125,200	5,200	104
三 重 県	25,700	1,200	105	496	106	127,500	12,800	111

区 分	ふるい目幅1.70mmで選別					作況 単収 指数
	10 a 当たり 予想収量		予想収穫量 （主食用（生産者ふるい下米含む））			
	実 数 ④	前年産との 比較	実 数 ⑤=①×④	前年産との比較		
				対 差	対 比	
kg	%	t	t	%		
東 海 3 県	504	103	364,200	26,400	108	103
岐 阜 県	497	103	103,400	8,700	109	103
愛 知 県	504	101	129,500	5,200	104	102
三 重 県	511	105	131,300	12,500	111	104

- 注：1 作付面積（主食用）（①）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
- 2 生産者が使用しているふるい目幅で選別された10 a 当たり予想収量（②）及び予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））（③）は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 3 生産者が使用しているふるい目幅で選別された10 a 当たり予想収量（②）については、県ごとに、過去5か年に生産者が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅（岐阜県は1.80mm、愛知県及び三重県は1.85mm）で選別された玄米を基に算出した数値である。
- 4 10 a 当たり予想収量（④）及び予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））（⑤）は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 5 予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））（③）及び予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米を含む））（⑤）については、県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
- 6 作況単収指数は、生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した10 a 当たり収量の前年産までの5か年中3年平均（最高、最低除く）に対する10 a 当たり収量の比率である。

2 岐阜県

(1) 作付面積

令和7年産水稻の主食用作付面積は2万800ha（前年産に比べ1,200ha増加）と見込まれる。

(2) 作柄概況

9月25日現在における岐阜県の10a当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）は487kg（前年産に比べ+13kg）と見込まれる。

これは、5月下旬から6月中旬に気温や日照時間が前年を下回る時期があったものの、6月中旬以降は総じて天候に恵まれたことから、全もみ数が前年に比べやや多くなったことに加えて、登熟（千もみ当たり収量）もおおむね順調に推移していると思込まれるためである。

なお、作柄表示地帯別には、西南濃は474kg（前年産に比べ+14kg）、中濃は490kg（同+17kg）、東濃は506kg（同+13kg）、飛騨は511kg（同△2kg）と見込まれる。

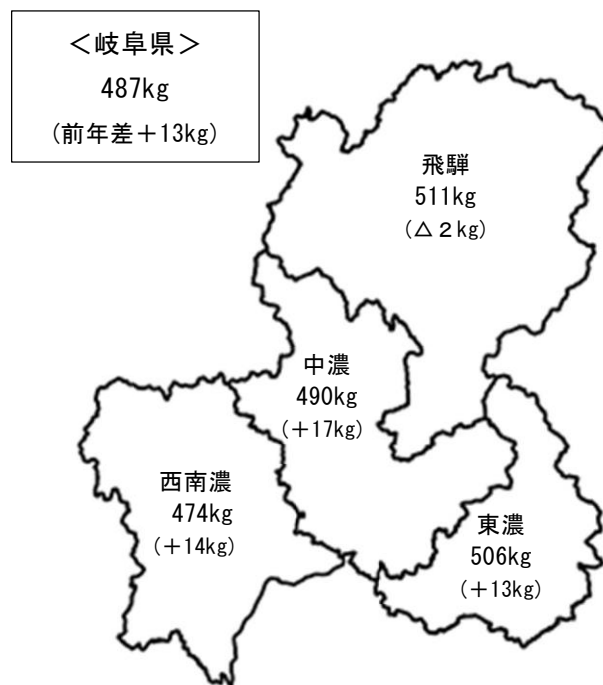
(3) 予想収穫量

主食用作付面積に10a当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）を乗じた予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は10万1,300t（前年産に比べ8,400t増加）と見込まれる。

(4) 作況単収指数

岐阜県の作況単収指数は103と見込まれる。

図2 作柄表示地帯別10a当たり予想収量
（9月25日現在）
（生産者が使用しているふるい目幅ベース）



参考

ふるい目幅1.70mmベースの予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は10万3,400t（前年産に比べ8,700t増加）と見込まれる。

3 愛知県

(1) 作付面積

令和7年産水稻の主食用作付面積は2万5,700ha（前年産に比べ700ha増加）と見込まれる。

(2) 作柄概況

9月25日現在における愛知県の10a当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）は487kg（前年産に比べ+7kg）と見込まれる。

これは、5月下旬から6月中旬に気温や日照時間が前年を下回る時期があったものの、6月中旬以降は総じて天候に恵まれたことから、全もみ数が前年に比べやや多くなったことに加えて、登熟（千もみ当たり収量）もおおむね順調に推移していると思込まれるためである。

なお、作柄表示地帯別には、尾張は477kg（前年産に比べ+3kg）、西三河は498kg（同+8kg）、東三河は492kg（同+12kg）と見込まれる。

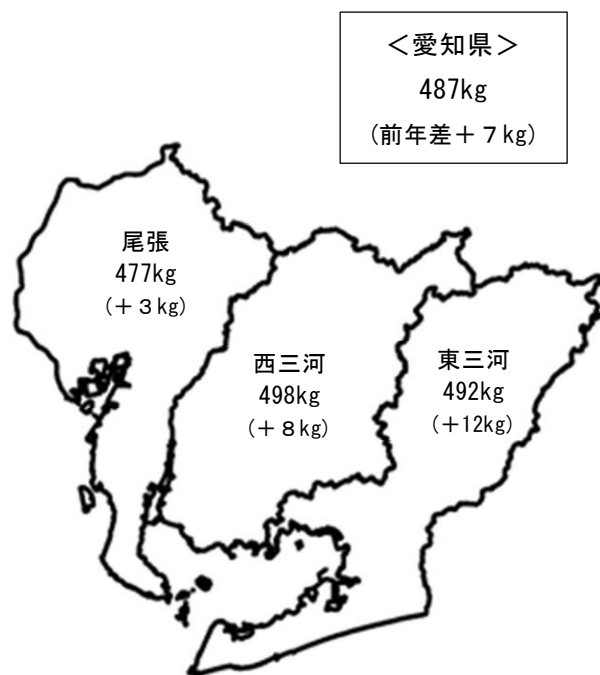
(3) 予想収穫量

主食用作付面積に10a当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）を乗じた予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は12万5,200t（前年産に比べ5,200t増加）と見込まれる。

(4) 作況単収指数

愛知県の作況単収指数は102と見込まれる。

図3 作柄表示地帯別10a当たり予想収量
（9月25日現在）
（生産者が使用しているふるい目幅ベース）



参考

ふるい目幅1.70mmベースの予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は12万9,500t（前年産に比べ5,200t増加）と見込まれる。

4 三重県

(1) 作付面積

令和7年産水稻の主食用作付面積は2万5,700ha（前年産に比べ1,200ha増加）と見込まれる。

(2) 作柄概況

9月25日現在における三重県の10a当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）は496kg（前年産に比べ+28kg）と見込まれる。

これは、田植期以降6月中旬にかけて気温や日照時間が前年を下回る時期があったものの、6月中旬以降は総じて天候に恵まれたことから、全もみ数が前年に比べ多くなったことに加えて、登熟（千もみ当たり収量）は一部地域で不稔もみの発生により前年を下回る見込みであるものの、県全体としてはおおむね順調に推移していると見込まれるためである。

なお、作柄表示地帯別には、北勢は496kg（前年産に比べ+35kg）、中勢は497kg（同+31kg）、南勢は504kg（同+33kg）、伊賀は486kg（同+1kg）と見込まれる。

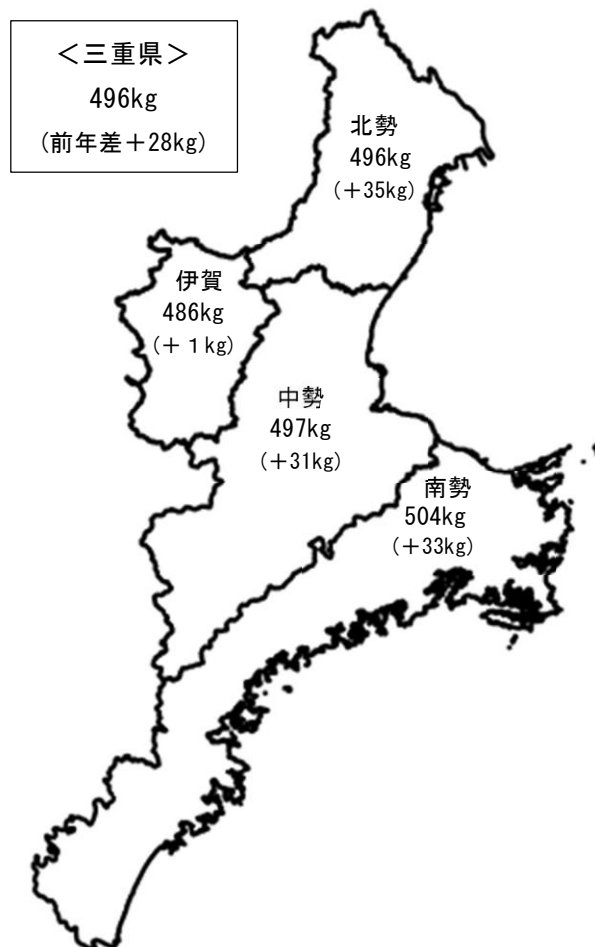
(3) 予想収穫量

主食用作付面積に10a当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）を乗じた予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は12万7,500t（前年産に比べ1万2,800t増加）と見込まれる。

(4) 作況単収指数

三重県の作況単収指数は104と見込まれる。

図4 作柄表示地帯別10a当たり予想収量
（9月25日現在）
（生産者が使用しているふるい目幅ベース）



参考

ふるい目幅1.70mmベースの予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は13万1,300t（前年産に比べ1万2,500t増加）と見込まれる。

【統計表】

統計表

ページ

令和7年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量…………… 10

利用上の注意

- 1 統計数値については、次の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原数	6桁 (10万)	5桁 (1万)	4桁 (1,000)	3桁以下 (100以下)	
四捨五入する桁数 (下から)	2桁		1桁	四捨五入しない	
例	四捨五入する前 (原数)	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した数値 (統計数値)	123,500	12,300	1,230	123

- 2 表中に用いた記号は次のとおりである。
「0」：単位に満たないもの（例：0.4ha→0ha）又は増減がないもの
「…」：事実不詳又は調査を欠くもの
「△」：負数又は減少したもの
- 3 この統計表に記載された数値等を他に転載する場合は、「令和7年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量」（東海農政局）による旨を記載してください。

令和7年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量

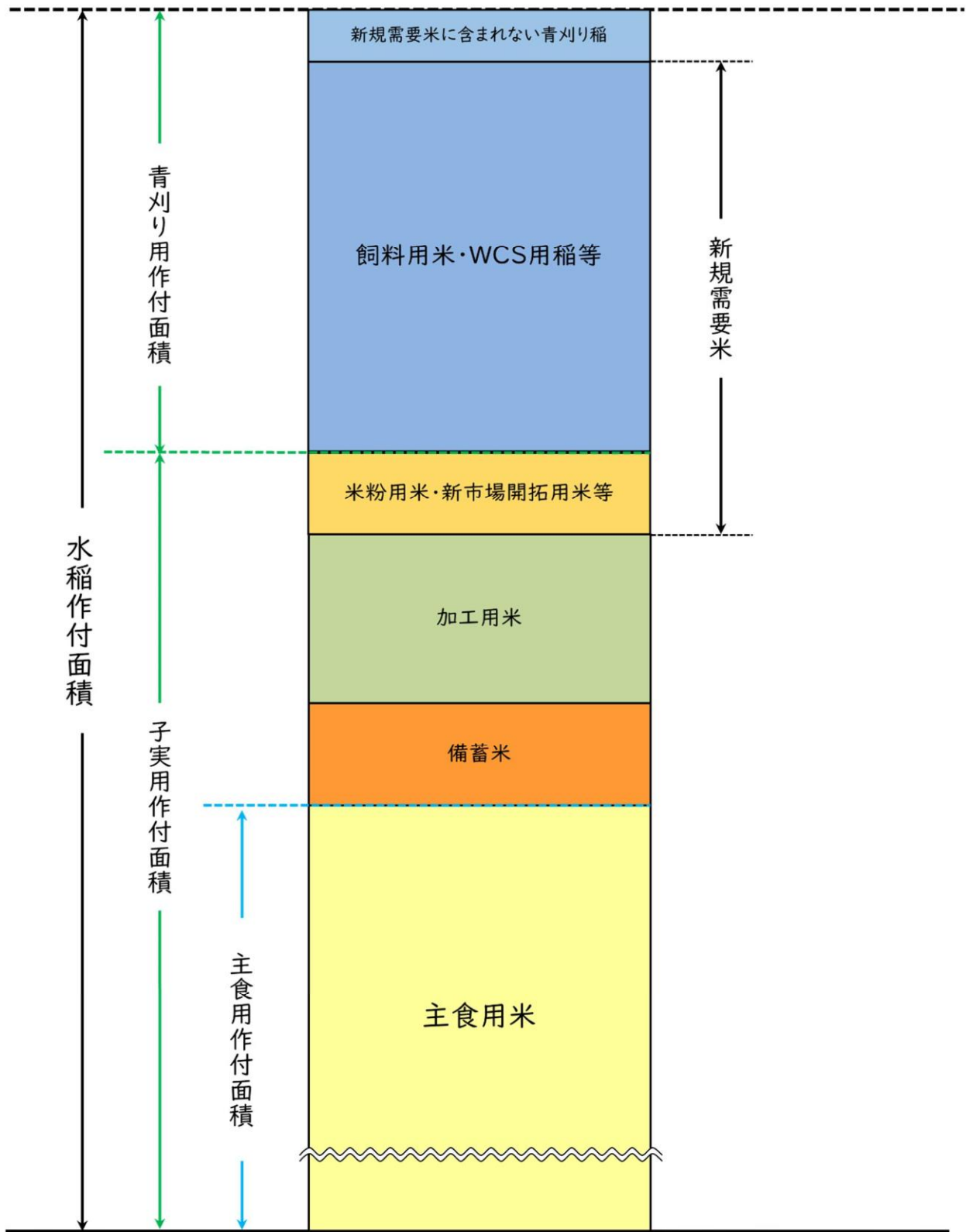
区 分	作付面積（青刈り面積を含む。）			作付面積（主食用）			生産者が使用しているふるい目幅で選別						B 予想収穫量 （生産者ふるい下米）		
	実 数	前年産との比較		実 数 ①	前年産との比較		実 数 ②	前年産との比較 対 比	A 予想収穫量 （主食用（生産者ふるい上米））			実 数 ④=⑥-③	前年産との比較		
		対 差	対 比		実 数 ③=①×②	対 差			対 比	対 差	対 比				
ha	ha	%	ha	ha	%	kg	%	t	t	%	t	t	%		
東海3県	78,700	△300	100	72,300	3,200	105	490	103	354,000	26,400	108	10,200	0	100	
岐阜県	23,900	△300	99	20,800	1,200	106	487	103	101,300	8,400	109	2,100	300	117	
西南濃	474	103	
中濃	490	104	
東濃	506	103	
飛騨	511	100	
愛知県	27,700	100	100	25,700	700	103	487	101	125,200	5,200	104	4,300	0	100	
尾張	477	101	
西三河	498	102	
東三河	492	103	
三重県	27,100	0	100	25,700	1,200	105	496	106	127,500	12,800	111	3,800	△300	93	
北勢	496	108	
中勢	497	107	
南勢	504	107	
伊賀	486	100	

区 分	ふるい目幅1.70mmで選別					主な収量構成要素（前年比較）				作況 単収 指数
	10a当たり予想収量		C=A+B 予想収穫量 （主食用（生産者ふるい下米含む））			穂数の 多 少	1穂当たり もみ数の 多 少	全もみ数 の多 少	千もみ 当たり収量の 多 少	
	実 数 ⑤	前年産との 比較 対 比	実 数 ⑥=①×⑤	前年産との比較 対 差 対 比						
kg	%	t	t	%						
東海3県	504	103	364,200	26,400	108	103
岐阜県	497	103	103,400	8,700	109	やや多い	やや多い	やや多い	やや少ない	103
西南濃	487	103	やや多い	前年並み	やや多い	やや少ない	103
中濃	499	104	やや少ない	多 い	やや多い	前年並み	103
東濃	514	103	前年並み	多 い	多 い	やや少ない	102
飛騨	520	100	やや多い	前年並み	やや多い	やや少ない	101
愛知県	504	101	129,500	5,200	104	前年並み	やや多い	やや多い	前年並み	102
尾張	493	101	やや少ない	やや多い	やや多い	前年並み	101
西三河	518	102	前年並み	前年並み	前年並み	前年並み	103
東三河	509	102	やや少ない	やや多い	やや多い	やや少ない	103
三重県	511	105	131,300	12,500	111	前年並み	多 い	多 い	前年並み	104
北勢	515	107	前年並み	多 い	多 い	前年並み	106
中勢	513	106	やや少ない	多 い	やや多い	やや多い	105
南勢	512	106	やや少ない	多 い	多 い	やや少ない	106
伊賀	500	99	やや多い	多 い	多 い	少ない	97

- 注：1 作付面積（青刈り面積を含む。）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積である。
 2 作付面積（主食用）（①）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
 3 生産者が使用しているふるい目幅で選別された10a当たり予想収量（②）及び予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））（③）は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である。
 4 生産者が使用しているふるい目幅で選別された10a当たり予想収量（②）については、県ごとに、過去5か年に生産者が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合（岐阜県は1.80mm、愛知県及び三重県は1.85mm）の目幅で選別された玄米を基に算出した数値である。
 5 10a当たり予想収量（⑤）及び予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））（⑥）は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
 6 予想収穫量（生産者ふるい下米）（④）とは、予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））（⑥）から予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））（③）を差し引いた玄米の重量である。
 7 予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））（③）及び予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米を含む））（⑥）については県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
 8 本表における主な収量構成要素の前年比較区分は、「多い」が対前年比106%以上、「やや多い」が105～102%、「前年並み」が101～99%、「やや少ない」が98～95%、「少ない」が94%以下に相当する。
 9 東海3県における「穂数の多少」以降の指標は、取りまとめているため、「…」で示している。
 10 作況単収指数は、生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した10a当たり収量の前年産までの5か年中3年平均（最高、最低除く）に対する10a当たり予想収量の比率である。

【参考 1】

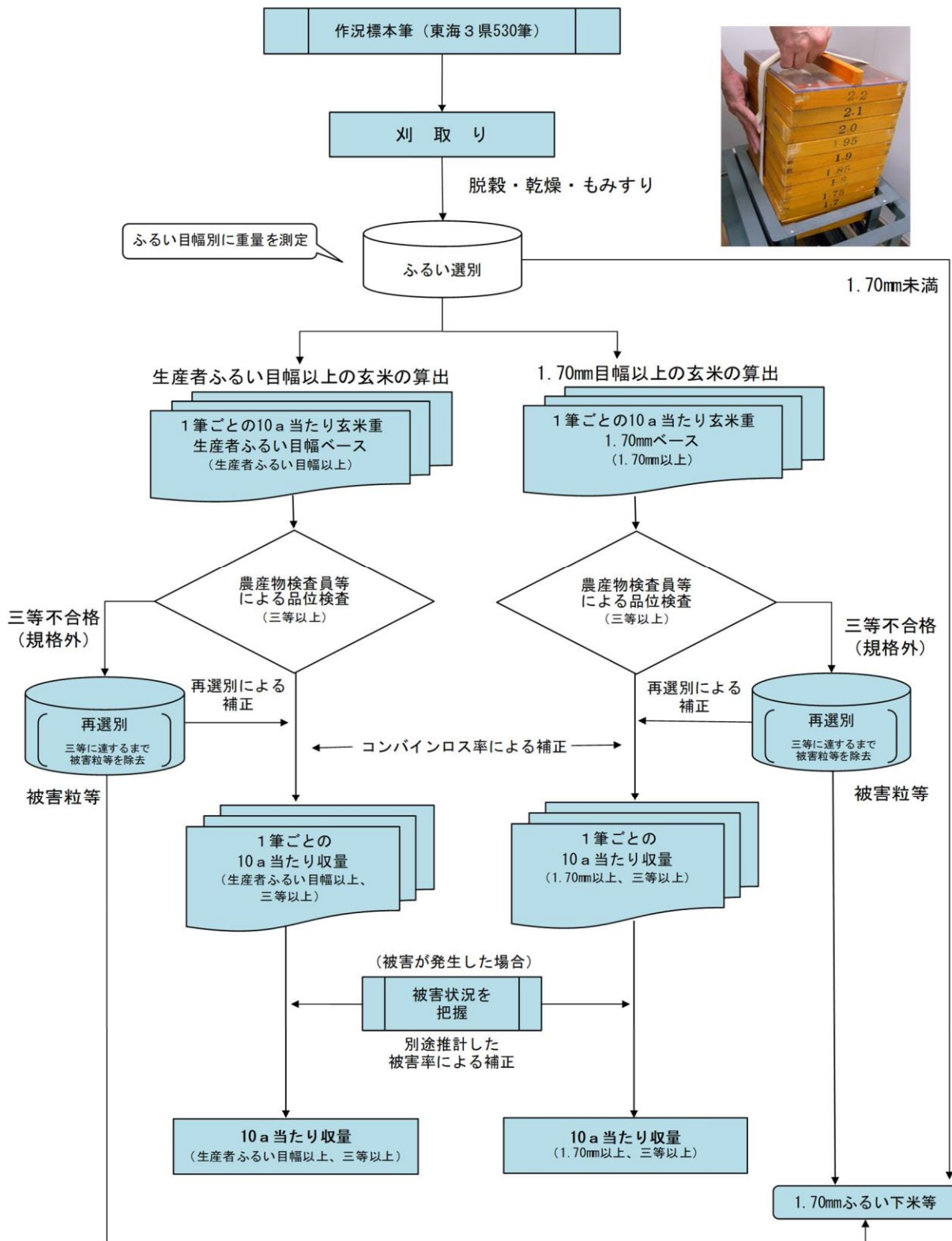
水稻作付面積の概念図



【参考2】

刈取り調査における10a当たり収量の算出方法

作況標本筆（【参考3】参照）ごとに一定面積の稲を刈取り、農産物規格規程に定める三等の品位以上に相当するよう選別を行い、その重さを計測し、コンバインロス率及び被害率による補正を行い10a当たり収量を算出している（下図参照）。



【参考3】

作況標本筆^{ふで}とは

収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆（1枚のほ場を筆（ふで）と呼ぶ。）は、各県の水稲の状況が把握できるように、標本理論に基づいて次のように各地で選定し（東海3県で530筆）調査している。

全国の全ての土地
（母集団）



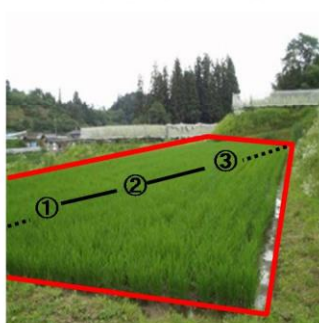
1 全国の全ての土地を200m四方（北海道は、400m四方）に区切って編成した単位区のうち、水田が含まれる単位区を調査母集団とし、その中から、無作為抽出法（人間の恣意を排したくじ引きのような選び方）により「標本単位区」を選んでいる。

標本単位区
（200m四方の土地）



2 標本単位区の中から無作為に1枚の水田ほ場を選び、「作況標本筆」としている。

作況標本筆
（東海3県で530筆）

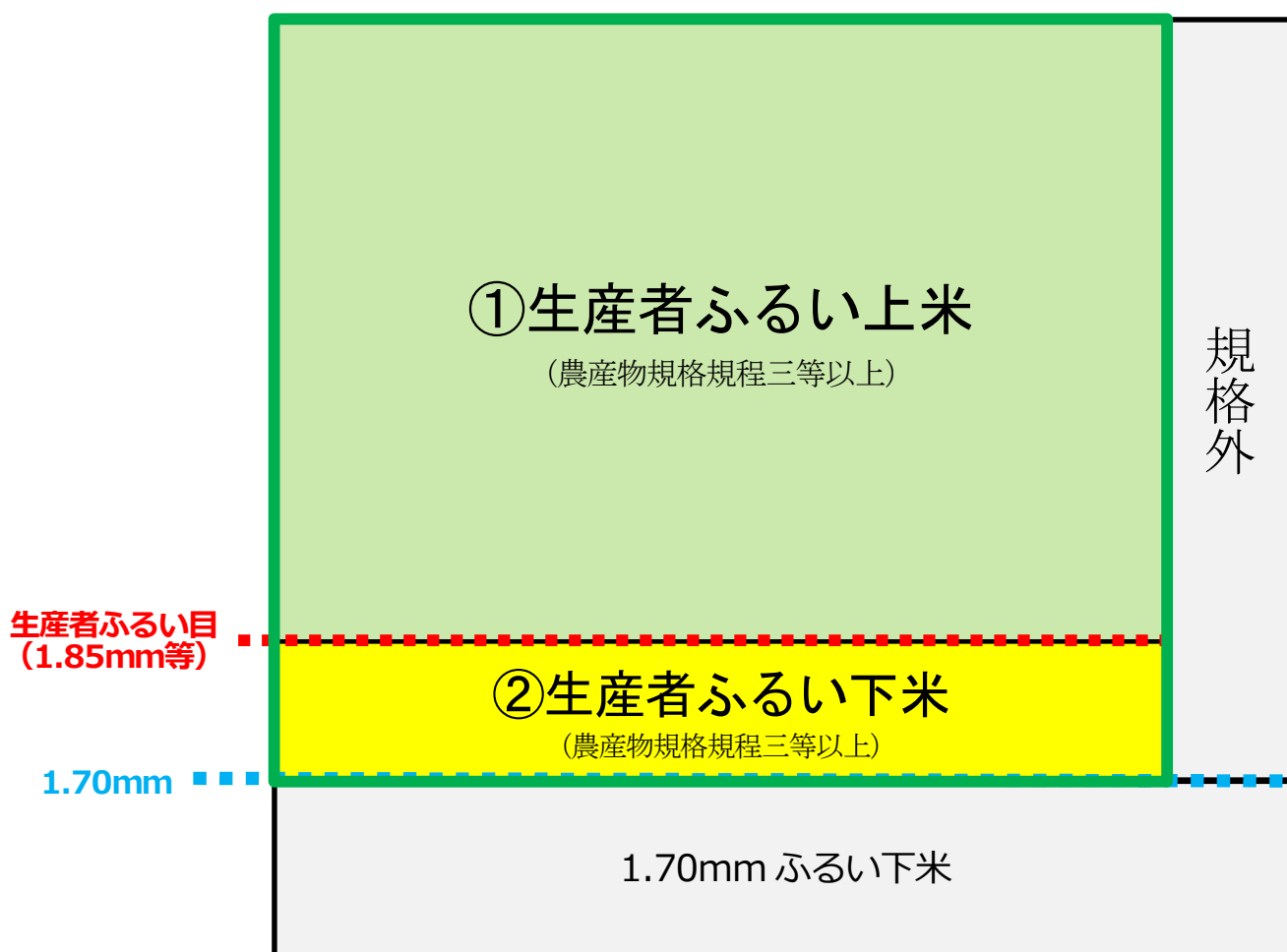


3 各作況標本筆の対角線上の3か所(①、②、③)を実測調査箇所として、調査箇所ごとに1㎡（合計3㎡）分のサンプル採取（坪刈り）を行っている。

【参考4】

水稲収穫量調査の収穫量イメージ

- ① 収穫量（生産者ふるい上米）は、県ごとに最も使用されている生産者ふるい目（1.80、1.85mm）以上で農産物規格規程三等以上の収穫量を対象としている。
- ② 収穫量（生産者ふるい下米）は、ふるい目幅 1.70mm 以上、農産物規格規程三等以上で生産者ふるい目幅未満の収穫量を対象としている。
- ③ 収穫量（生産者ふるい下米含む）は、①と②をあわせた収穫量（緑枠）を対象としている。



【調査の概要】

・面積調査

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/gaiyou/>

・作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/gaiyou/

○ 作柄表示地帯

東海3県の各作柄表示地帯の包括範囲は、下表のとおり。

区分	地帯名	包 括 市 町 村
岐阜県	西南濃	岐阜市、大垣市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、海津市、岐南町、笠松町、養老町、垂井町、関ヶ原町、神戸町、輪之内町、安八町、揖斐川町、大野町、池田町、北方町
	中濃	関市、美濃市、美濃加茂市、可児市、郡上市、坂祝町、富加町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、東白川村、御嵩町
	東濃 飛驒	多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市 高山市、飛驒市、下呂市、白川村
愛知県	尾張	名古屋市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、津島市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、日進市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、あま市、長久手市、東郷町、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町
	西三河	岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、みよし市、幸田町
	東三河	豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村
三重県	北勢	四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、木曾岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町
	中勢	津市、松阪市、多気町、明和町、大台町
	南勢	伊勢市、尾鷲市、鳥羽市、熊野市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町、紀北町、御浜町、紀宝町
	伊賀	名張市、伊賀市

【水稻調査結果の主な利活用】

- ・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針の策定のための資料
- ・ 「食料・農業・農村基本計画」における品目ごとの生産量や作付面積等のKPIの設定及び検証のための資料
- ・ 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業の適切な運営のための資料


【Webサイト掲載案内】

- ・ この統計調査結果は、東海農政局Webサイトの「農林水産統計」で御覧いただけます。
<https://www.maff.go.jp/tokai/tokei/kohyo/schedule/index.html>
- ・ 全国値の詳細は、分野別分類「作付面積・生産量、家畜の頭数など」、品目別分類「米」の「作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。
https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#y3
- ・ 本資料のうち、作付面積は概数値であり、確定した詳細な数値は、Webサイトに掲載（令和8年2月予定）します。
- ・ 次回（10月25日現在）の公表は、令和7年11月中旬の予定です。
- ・ 公表した数値の正誤情報は、Webサイトでお知らせします。

【関連リンク】

- ・ 農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局
<https://www.maff.go.jp/j/nousan/>
 - ・ 病害虫に関する情報：農林水産省＞組織別から探す＞消費・安全局＞病害虫の防除に関する情報
<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/>
- ※ 上記リンクでは、病害虫の防除に関する情報として、総合防除の推進や発生予察事業による病害虫の発生予測等について掲載しています。
- なお、「植物防疫年報」として公開している病害虫の発生面積は病害虫の発生予測の参考として調査を行っているもので、農作物の作付面積、収量等の調査を行っている作物統計調査とは調査目的や調査方法等が異なります。
- ・ 気象庁
<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

お問合せ先

<p>◎本統計調査結果について 東海農政局 統計部 生産流通消費統計課 電話：052-763-4732</p> <p>◎農林水産統計全般について 東海農政局 統計部 統計企画課 電話：052-763-4730</p>	
--	---



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>